

上尾支部通信

埼玉県行政書士会上尾支部機関紙

街頭無料相談会開催

相続遺言など 行政書士相談員が対応

上尾駅東口会場

新春恒例の街頭無料相談会（埼玉県行政書士会上尾支部主催）が4月11日、上尾駅東口歩道橋で開催されました。上尾支部の行政書士相談員15人が、午後1時から3時まで、市民からの相談13件にあたりました。



相続・遺言が9件に及んだほか、不動産贈与、離婚、横領事件などがありました。内田淳一支部長は、「今回は屋根のない東口歩道橋が会場となったが、幸い天気



もよく、初夏のような気温の中での開催だった。行政書士の協力により、青空相談会も盛況となった」と語りました。

上尾支部の今年の街頭無料相談会は、7月（桶川駅）、10月（上尾駅）、11月（上尾市民体育館）が予定されています。また、年間を通して、無料相談の機会が様々な設けられています。詳細・お問い合わせは下段の通りです。
理事 田中 智



相談にあたる上尾支部の行政書士は上尾駅東口で

平成21年5月1日発行
埼玉県行政書士会上尾支部
支部長 内田淳一
編集 上尾支部広報部
上尾市泉台1丁目21番14号
電話 048-776-3367
FAX 048-776-3764

特集

平成19年度20年度行政書士会活動総括
2・3・4・5・6・7面

毎週月水金
正午～午後4時
上尾支部事務所
電話相談

毎月第3火曜日
午後1時～4時
行政書士相談
於：上尾市役所

毎月1日
午後1時～4時
行政書士による事業と暮らしの相談
於：桶川市役所

毎月第3水曜日
午後1時～4時
事業と暮らしの相談
於：伊奈町役場

祝日は変更されます。

お問い合わせ先
上尾支部事務所
電話
048-776-3367

FAX
048-776-3764

上田清司 埼玉県知事後援会主催「2009年四市清友会新年総会」が2月19日、新座市内で開催され、埼玉県行政書士政治連盟上尾支部の内田淳一支部長、秋山允宏幹事長、田中智幹事が出席しました。

上田知事後援会新年総会に出席

上田知事は挨拶で、一段と厳しい経済情勢の中、埼玉を日本一にするべく頑張る決意を表明しました。総会には近隣市長、国会・県議会議員や商工会議所等の関係者支援者約1000人が集まり、上田知事と交流しました。内田政連支部長は上田知事と歓談して握手を交わし、行政書士の政治活動を一段と推進させました。
政連支部幹事 田中 智



上田知事（左）と握手を交わす内田政連支部長「新座市の会場」

特集 平成19年度20年度 行政書士会活動総括

支部長

内田淳一

上尾支部の皆さん、こんにちは。新緑が眩しい季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか？さて早いもので支部長に就任してから2年が過ぎました。支部役員任期が1期2年ですので、この間に何事もなく任期を全う出来たのかなと自分自身でほっとしております。思い起こせば2年前の就任時には、支部事務局の開設や各役員さんらへの支部活動の役割分担などで、大変な時期だったなと記憶しております。しかし幸運にも私には多くの協力的かつ積極的な実務家の方々が、スタッフとして支えて下さったおかげで今日までこれでした。本当にありがたく感

じております。さて今日、埼玉県行政書士会（以下埼玉会という）は会員数が2000名に近づく勢いですが、同じように支部会員数も今年中には100名に近づいてくるのかなと考えております。この会報をお読みになっている会員さんの中には私自身が事務所訪問を行っている方も多い方と存じます。埼玉会ではこうした開業間もない会員さんへ向けた、様々な業務研修会を多数開催しており、また受講料も安く設定されていますので、新しく入会されました会員さんにはぜひ積極的にご利用頂ければと思っております。また、上尾支部でも年間を通じて様々な活動を行っております。上尾駅や桶川駅のコンコースを利用した街頭無料相談会や各自治体役所内での市民相談、また支部研修旅行やレクレーション（今年は8月下旬にビール祭りを予定）、新年会に忘年会等々いろいろな行事がございます。ぜひ新しく入会をされた会員さんには、積極的に支部活動へのご参加をして頂ければと思っております。（もちろんベテラン会員さんも）そうして、同じ同業者仲間の関係性を深めていただくことにより、業務上のアドバイスや情報、知識を交換されれば、皆さんの業務上にも大変なメリットが生まれることと思えます。現在支部会員さんへの連絡は主に事務局よりFAXにて行っております。行政書士の業務範囲は多岐に広がっており中々、専門業務を見つけれないといった問題は多くの会員さんの共通項です。埼玉会及び支部ではこうした問題を解決すべく日々、役員一同が活動を続けてまいります。上尾支部主催の研修会も今年

は増やそうかと予定しております。結びに上尾支部会員の皆さんの益々の御発展と御健勝を祈念いたします。私の御挨拶とさせていただきます。

平成21年4月吉日

副支部長

荒岡克巳

本会役員任期を振り返って

本会の平成20年度事業も滞りなく終了し、新年度の予算も原案が固まり、5月の定時総会へ向けての準備が着々と進んでいます。

今年役員改選期となりませんが、私もお蔭様を持ちまして、永年務めてきました支部推薦の本会理事を次の方にバトンタッチすることになりました。

本会では、この2年間行政法務部長を仰せつかり、公益法人法の改正による研修、入管法の研修、著作権の研修、公証人を招いての研修、成年後見の研修などを開催させていただきました。

一方で、組織検討委員会でも会長から委嘱を受け、「成年後見制度」に対し、本会としての組織のあり方について、一員と



行政書士による街頭無料相談会 上尾駅西口で

して慎重に議論を重ねてきました（これについては、前号の支部通信でも触れております）。

平成21年度からは、新しく社会貢献委員会の中で、成年後見連絡協議会として一般社団法人の設立も睨みながらさらに一歩踏み込んで取組む体制が整いました。

そこで、任期満了にあたり、ここに至るまでの経緯の一端を少し述べさせて頂きます。

本会としてこの制度に関心を持つようになったのは、平成17年度に神奈川成年後見サポートセンターから招かれた全国協議会からではなかつたでしょうか。その時は、業務一部長として本会から派遣されましたが、全国から参集した代表者の熱気に圧倒された記憶があります。

翌18年度には、首都圏の単位会という地勢から、日行連から成年後見検討ワーキンググループ（WG）として委嘱され、

全国の単位会の取組状況の把握と共に日行連としてのこの制度の位置付けをWGのメンバーの方々と議論致しました。残念ながら、諸般の事情で理事会に諮るまでの答申には至りませんでした。その意志は次年度以降に引き継がれました。

本会においても、初の試みとして8回シリーズで研修会を企画・実施し、200名以上の参加者があり、予想以上の反響で会場が定員オーバーになり、2回目からは、急遽会場を当時の東武ホテルに変更して実施されたことは、エポックメイキングではなかつたかと思えます。

その後、平成19年度、20年度にもそれぞれ研修会を行いながら、本会としてこれを組織的運営について議論してもらえるところまで漕ぎつけ、組織検討委員会の答申も前年度の理事会において承認が得られました。この制度に取組ん

でいく上での課題・問題点は山積しているとは思いますが、埼玉会会員1900名の中から、積極的に関与していこうとする方々が数多くいらっしゃることを肌で感じながら、足掛け4年間携わってきました。

これで行うべく、前に進んでいく筋道が出来ました。今後はこれを着実なものにし、さらに信頼を得ていくためには、

崇高な職業倫理とさらなる研鑽が必要であることは言うまでもありません。

この制度に関わっていくことが、行政書士の社会的地位の向上に繋がっていくことを会員の一人として強く信じるとともに、さらに推進していける事を念じて、ここ迄の4年間を振り返らせていただきます。



副支部長

秋山允宏

上尾支部は、約40年の歴史を有し、会員数も近々100名に達する勢いです。地域における行政書士の認知度・信頼度は年々上昇しています。これも偏に支部活動を熱心に推進してこられた先輩各位、並びに会員各位のご協力の賜物だと思います。

上尾支部の主たる事業と活動は、次の6つに分類できると思います。当年度の活動は、会員各位の絶大なるご協力により全て無事に完了しました。

(1) 支部定期総会の開催、埼玉会定期総会への参画(代議員8名、政治連盟代議員7名出席)

(2) 事業活動(主に市民相談等地域への支援活動)

(3) 研修活動(対象:支部会員)

(4) 厚生活動(新年会、忘年会、春・秋の旅

行等)

(5) 広報活動(支部通信発行、広報用のチラシ発行等)

(6) 行政書士試験監督(8名の会員に監督員依頼)

埼玉県行政書士会前会長の長島敬一先生は、30数年間に亘って上尾の支部長を続けられたと聞いています。長島先生は、開設35周年の記念誌「行政書士の地位向上を目指して」(平成16年発行)の中で、以下のように活動の信念を述べています(抜粋)。

「行政書士事務所を開業したところは、『行政書士』という職業はまだ社会的にはあまり知られていなかった。『街の法律家』としての無限の可能性を秘めている。『行政書士』は、必ず社会に貢献できる天職と信じて、今日まで社会的認知と地位向上に努めてきた」。

上尾支部では、長年地域活動として、市民相談会(上尾市

役所・桶川市役所・伊奈町役場、上尾駅通路・桶川駅通路・上尾まつり会場等で開催)、或いは行政・議員との交流(埼玉県知事・支部管轄内の市長及び町長並びに地元選出の国会議員・県会議員と交流)を続けてきました。

今後、時代にマッチするよう改善を重ねながら、この歴史を受け継ぎたいと思います。

今後は、広報部門をより強化(支部通信、広報用チラシ、インターネット等の内容をより充実)して、支部活動を広くPRしたいと思えます。

「行政書士事務所を開業したところは、『行政書士』という職業はまだ社会的にはあまり知られていなかった。『街の法律家』としての無限の可能性を秘めている。『行政書士』は、必ず社会に貢献できる天職と信じて、今日まで社会的認知と地位向上に努めてきた」。

上尾支部では、長年地域活動として、市民相談会(上尾市



「あげお祭りの無料相談会」
上尾市民体育館で

副支部長

友光仁史

平成19・20年度の2年にわたり、支部役員を務めさせていただき、大過なく任務を全うさせていただけました。思えば2年前の3月、内田淳一支部長から「副支部長をやれ」との電話をいただき、「私で大丈夫なんですか?」と申し上げたとき、「大丈夫大丈夫。サプライズ!」との答えを受けて、おつかなびつくり役員に就いてから今日まで、支部の皆様のお力添えをいただき、任期を過ぎさせていたいただいたことを感謝いたしております。

また、一方では、従来荒岡克巳先生のご職掌であられた本会の業務開発部員をうけたまわり、こちらの方も冷汗三斗の思いながら、2年度にわたり新入会員研修も終えることがで

きました。

さて、この2年間、つくづく感じたことは支部広報活動の拡充です。私事ながら、前広報部長として右も左も判らずに立ち上げた、この「上尾支部通信」にせよ、支部HPの内容にせよ、「いつの間にかやらずいぶん大きくなつたなあ」などと親戚の子どもの成長を見ることがあります。これは、後任の広報部長、広報部員、また投稿をいただいた皆様のおかげであり、また、対外的にPRをするにしても、より数多くの官公署や関連各機関に配布していただき、大きな効果を上げております。

(一説によると、インターネット上で行政書士を検索すると、埼玉県内で真っ先にヒットするのは当上尾支部なのだそうです。) こうしたPRが看板倒れにならないよう、より多くの新入会員さん、ベテラン会員さんたちに支部活動にお力添

えをいただき、一層充実した内容の支部活動が展開できるようお願いして、私の総括いたします。

総務部長

鈴木紘治

19年5月、石倉富美子前支部長から内田淳一新支部長へと支部トップが交代し新体制がスタートしました。18年9月に長島敬一前埼玉会会長が逝去されたあと上尾支部のバックボーンが無くなったような不安感を抱えてのスタートでした。同時に支部事務所も新規に開設しなければならず、また常任事務局員も退職し、役員が協力して事務局業務を推進するとい

ういわば、手探り状態のスタートとなりました。

内田支部長には支部長就任前から支部事務所候補の選定、

(4面に続く)

(3面から)

下見、契約とご尽力
いたいただき無事新事務
所開設にこぎつける
ことができました。

その後、支部総会
を経て、役員各位の
協力分担体制を整え
つつ、定例的な支部
行事を無事推進して
まいりました。会員
の支部活動参加状況
も以前と変わらずご
支援ご協力をいただ
いたように思います。

各種の支部活動の
中では広報活動が印
象に残っています。

支部通信の定期的
発行及び街頭相談時
のチラシ編集、役所
相談会チラシの新規
作成など多くの役員
が協力して作成しま
した。

また、18年5月に
開設したホームペー
ジもタイムリーに情
報を更新することが
でき会員及び広く一
般への情報提供の面
で充実していると感
じています。

但し、利活用につ
いてはさらに検討す
る必要もありませんが、
担当役員のご努力ご

協力には感謝いたし
ます。

内田支部長には2
年間にわたり何事も
柔軟な姿勢で役員間
の協議をベースに支
部活動をリードして
いただき民主的な運
営ができたと思いま
す。

しかし新事務所の
運営についてはまだ
まだ課題が残ってい
ます。

事務所での電話相
談受付は週3日と限
定的なのでこれを早
期に常駐化すべきと
考えています。また、
支部役員会も事務所
での開催を検討して
いますが、駐車可能
数がネックでまだ実
施できていません。

また役員会以外に
も業務別研究会など
のグループ活動に事
務所を活用し、相互
啓発、更には業務協
力など多種多様な専
門家の集団の拠点と
して機能することを
望んでいます。

19・20年度は支部
新入会員が多数いま
した。会員数が10
0名になる日も近い
と思います。

新入会員の中から
多くの方が支部役員
として活動に参加し
ていただき新風を吹
き込んで支部活動を
盛り上げることを期
待しております。

経理部長

星 和彦

平成19年度・20年
度の経理事務を担当
しました星和彦です。

これまでの支部活
動をよく知らない私
がこの担当を充分な
決意もなくなんと
くお引き受けしてし
まい、これからどう
なることやらと不安
で一杯からの始まり
でしたが、今、よう
やく2年間の事務処
理も終わりとなり、
ホッとしているとこ
ろです。支部会員の
皆様には、私の不慣
れのために何かとご
不便をお掛けしまし
たことをお詫び申し
上げますとともに、
多大なご協力を頂き
ましたことに深く感

謝申し上げます。
振り返りますと、
平成19年度・20年度
の特徴は、支部とし
て今までに経験のな
い独立の事務所を借
りた支部運営にあり
ました。また、事務
所を確保してどう運
営していくのか、あ
るいは事務所家賃・
水道光熱費・その他
事務所維持管理に関
する支出が大きく増
えるためにその他の
支部運営に支障をき
たさないか等、大き
な課題がありました。
このような状況の中、
役員会において、予
算執行に当たっては
より効率的に、より
よい効果を得られる
ように努めることが
求められることを確
認し、また支部と会
員の発展に向けて時
代に合った対応がで
きるような予算編成
も求められること等
を確認し合い、これ
まで以上に会員皆さ
んのご協力を頂きま
して従来にも増して
積極的に活動するこ
とを決意いたしました。
平成19年度におい

広報部長

風間昭彦

この2年間を振り
返り、役員及び会員
皆様のご支援ご協力
に先ずお礼申し上げ
ます。以下、広報活
動で特に留意してき
ました下記4点につ
いてその概要を報告
します。

一、機関紙体裁(機
関紙らしさの確保)
二、外部広報の志
向
三、費用対効果の
改善
四、会員の寄稿・
ご意見の反映

一 機関紙らしさ
機関紙の体裁にも
いろいろ有りますが、
古典的な三二新
聞の形式を採用しま
した。

8号の紙面は従
前の倍の8面としま
した。
当初、文字の大き
さや段落の複雑さの
ご批判を頂きました
が、従前の体裁と比
較し、「格調高い支部
通信になった」等々
の比較的好評なご意

見を頂きました。
外部広報
行政書士の地位向
上、業務拡大に寄与
するように外部広報
にも留意しました。
チラシの材質改
善・カラー採用等
自治体首長への
表敬訪問記事の掲載
配布先の拡大
(自治体、警察署等)
行政書士業務の
紹介(チラシ)
「あびお」及び
桶川市広報誌への行
事予定の掲載
自治体相談担当
責任者のインタビュー
記事掲載
上尾市制50年記
念事業に協賛広告
外部広報は、まだ
十分とは言えず、今
後の改善と創意工夫
が必要と考えます。

八 費用対効果
広報活動充実の要
請に対し事務所賃料
負担の為の予算圧縮
を考慮し、費用対効
果の改善に努めてき
ました。
チラシ印刷業者
の見直し
機関紙及びチラ
シの自主製作(印刷
は外注)

チラシ配布時の種子提供サービスの縮小
個人の編集ソフトの利用
発送は折込不要のメール便の採用

今回支部で編集ソフトを購入する予定です。今後は印刷も外注ではなく支部で印刷・コピーすることで費用を気にしないチラシ・機関紙の製作が可能になることを期待できます。

二 会員の寄稿等

8号ではテーマ「私の業務」を定め寄稿をお願いし6人の会員から投稿をいただきました。特別寄稿も掲載いたしました。

5号発行後、全会員の皆様に機関紙・広報活動についてアンケートをお願いし、貴重なご意見を頂き広報活動に反映しました。

最後に、皆様のご理解でいろいろなおことに挑戦できました。今後は、より多くの成果が出ることを期待し報告を終わります。

事業部長

関口光男

2年間の業務研修について

埼玉県行政書士会上尾支部に平成16年に入会しまして、平成19年度と20年度の2年間、事業部長を担当させていただきました。大いに勉強になりました。大いに勉強になりました。ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。

最初は、税理士の龍前篤司先生と知人だったこと、そして会社法が変更になり、有限会社制度が廃止されましたことなどにより、行政書士による業務の拡大に繋がるのではないかと考え、龍前税理士による研修業務を行いました。

又、私自身が建設業の業務について興味があったものから、建設業許可申請書類、建設業者が毎年作成を義務付けられている報告書類、経営審査に必要な書類（会社の経営業務状況のうち建設業に関する決算報告書類等）等、これらの書類をパソコンソフトを利用して作成するための研修を、審査業務・建設業ソフト制作会社及び荒岡克巳副支部長の協力により行いました。

このほか、高齢化社会に向けていよいよ必要になるだろう、成年後見制度の研修をNPO法人埼玉老後安心センターに協力していただき行いました。

増加する高齢者や精神障害者など、成年後見人が必要な多くの人がいます。近い将来に、成年後見制度が必要な時代が来ると思っていますので、行政書士としても、勉強しておく必要があると思いました。

何をテーマで研修会をやるのかと考えた時に改めて考えさせられました。

行政書士という職業は、大変幅が広く難しい業務だ、浅く広く業務を知らないとお客さんと話し

をした時に、答えられない業務がいつぱいあるなど。他の土業の知人がいないと、出来ない業務があるなど。私はと言うと、今

は測量の出来る知人と、農地法の許可と調整区域の宅地開発許可や相続に伴う相続協議書の作成など土地絡みの仕事と成年後見人を行っている



行政書士による街頭無料相談会=上尾駅東口で

るところでございます。最後にありますが、多くの行政書士の先生方の協力を得て業務研修会を行うことが出来ましたことを感謝しお礼申しあげます。2年間誠にありがとうございました。

厚生部長

榎本泰之

私は平成19年度の定時総会で厚生部長の任を受け、2年間に渡り活動してまいりました。

まず研修旅行は、平成19年度が山梨・長野方面、平成20年度が茨城・栃木方面で、いずれもレンタカーを使用しての旅行でした。レンタカーは自由度が高く、あらゆる所へ自在に移動できるのが強みで、突然の行先変更などに対応できること、目的地的に行けることが電車等には

ない長所だと思えます。今後の研修旅行にもぜひオススメしたいところです。

次に忘年会ですが、桶川伊奈地区懇親会との共同開催ということで平成19年度は桶川市内の居酒屋に行いました。平成20年度は交通の便利さを考慮し、上尾駅周辺での開催に決しました。忘年会では新規会員との交流をはかることも目標としていましたが、なかなか集まらなかつたことが残念です。以後の検討課題になると思います。

最後に年度末レクリエーションですが、平成19年度は例年に倣い、関東近郊の日帰り旅行ということ、東京両国の江戸東京博物館を見学しました。平成20年度は、今までの旅行を方向転換し、事業部との共同開催で研修会と懇親会の2部構成にて行いました。これは新規会員との交流をはかることが最大の目的でしたが、

(6面に続く)

(5面から)

忘年会同様、なかなか集まらなかつたのが残念です。こちらも以後の検討課題になるかと思ひます。

若輩ゆえ、至らない点もあつたかと思ひますが、2年間無事に厚生部長を務めることができ、会員の皆様に感謝致します。

HP担当理事

高橋博

支部HPの運用を開始して3年が経過しました。私はHPの立上げ当初からお手伝いさせて頂いてあります。

3年前、県内の各支部でHPを立ち上げましょう、との号令のもと、当支部でもHPの検討が始まりました。HP検討委員会を発足させ、数回のミーティングを重ねた後、掲載内容が決まりました。

数名が分担して掲載するページを作成したのですが、HPデザインについては専門家がおらず、また分担することもできなかったため、私のセンス(独断)で決めざるを得なかつたという状況でした。いくつかのデザインパターンを検討し、ある程度の形ができるまで、まる1週間ばかりかたてたでしょうか。

さて、そのような苦労から数年が経過し、様々なHPを見ていると、支部HPに足りないものが多い感じがします。掲載内容の充実、デザインの見直し、アクセス増加の取り組み、などなど。また、HPに対する要望も、ちらほら耳にします。しかしながら、HPを一から見直すには、相当の労力が必要ですし、専門業者に依頼するに、費用がネックとなります。そのため、改良の目処は立っていないというのが実情です。

最近、他の行政書士事務所のHPを見る機会があつたのですが、近年開業したばかりの方が、素晴らしいHPを作成して営業活動をしている姿がとて目につきます。支部の中にもHPに興味のある方がいらつしやると思ひますので、支部HPをさらに良いものにしたいなど、積極的に活動されたい方がおりましたら、是非、ご連絡いただければと思います。ご意見などもいただければ幸いです。

HPアクセス数
月2000~4000回
会員名簿掲載者数
(4月26日現在)
25名



上尾支部インターネットアドレス
<http://www.ageoshibu.com/>

平成19年度20年度 埼玉県行政書士政治連盟 上尾支部活動総括

政連支部長

内田淳一

政治連盟より挨拶

春の陽気に街が包まれてきました。政治連盟上尾支部会員の皆さんこんにちは。さて会員さんの中にはまだ、「政治連盟って何？」といった方もおられるかと思ひます。簡単に申し上げますと、行政書士の扱う業務が幅広く多岐に渡るため、それに伴い官公署との関わりも数ある土業の中で大変多くなります。業務を円滑に行う為に役所への様々な要望や陳情等も複雑かつ多彩です。そこでそれらの活動を円滑にとり行うためには、政治家の方々のバックアップが欠かせません。その活動を専門的に行うのが、政治連盟です。日本行政書士政治連盟を中心に埼玉県行

政書士政治連盟があり、政治連盟上尾支部もその一部です。当然、行政書士会(以下本会という)とは車の両輪のような関係であり行動も一緒に行つております。さて説明はこの位にしまして、政連上尾支部でも様々な活動を行つております。過去2年間(任期1期2年)には、地元の首長選挙(上尾市・伊奈町・桶川市)がそれぞれあり、当支部より陣中見舞いや出陣式等には多数の会員を動員致しました。おかげさまで支部役員会において推薦しました、候補者が全ての首長選で見事当選を致しました。また、埼玉県知事選挙や埼玉県議会選挙(地元のみ)におきまして、応援活動を繰り広げて、やはり支部推薦をした候補者が全員当選を果たしております。さて今年はいよいよ、

衆議院議員の選挙がございます。投票日の夜には、ほとんどのテレビ局が一同に特別番組を組むほどの一大イベント?のような感もあります。やはり日本の行く末を決定するので仕方の無いことなのでしょう。政治連盟上尾支部でも多くの役員さんや会員の方々の御意見をお聞きしながら随時慎重に活動を続けてまいりたいと思ひます。この会報をお読みになられました会員さんの一層のご理解とご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

平成21年4月吉日

政連支部幹事長

秋山允宏

平成19・20年度の県政連盟活動について
行政書士法は、昭和26年に議員立法により制定されました。このような立法の生立ちに鑑み、行政書

士にとって法改正が必要なときは、各党の行政書士制度推進議員連盟に加入して、国会議員との連携が必要になります。平成14年には「行政書士への代理権付与」等行政書士の地位向上にあって画期的な成果がありました。しかしながら、最近では商業登記の問題等、行政書士の地位向上にあって良い知らせがないのは残念です。日本行政書士政治連盟の総会等に出席される県政治連盟の代表各位に期待したいと思います。

平成20年度埼玉県行政書士政治連盟幹事会における主な議案は、以下のとおりです。

- (1)平成20年4月25日 開催【議案】
 - ・埼玉県行政書士政治連盟の定時総会定期大会への提出議案
- (2)平成20年8月11日 開催【議案】
 - ・日本行政書士政治連盟の定時総会定期大会の報告



政連活動 = 桶川西口公園で

- (3)平成20年11月26日 開催【議案】
 - ・埼玉県議会議員顧問会議の推薦
 - ・日本行政書士会連合会及び日本行政書士政治連盟の動き
 - ・司法書士法施行規則及び土地家屋調査士法施行規則の一部を改正する省令案に対する対応

以上 特集でした
平成19年度20年度
行政書士会活動総括
27面

ご来賓の皆様

役職名	ご芳名	様
埼玉県行政書士会会長	高玉 功稔	様
衆議院議員	大島 敦	様
桶川市長	岩崎 正男	様
伊奈町長野川和好様代理 企画課長兼住民相談室長	栗原 弘喜	様
上尾市議会議長	田中 守	様
伊奈町議会副議長	青木 久男	様
埼玉県議会議員	畠山 稔	様
埼玉県議会議員	小野 克典	様
埼玉県議会議員	石渡 豊	様
埼玉県行政書士会大宮支部長	露木 濟二	様
埼玉県行政書士会葛城支部長	森中 秀夫	様
埼玉県行政書士会鴻巣支部長	中野 美春	様

21年上尾支部新春の集い

1月21日(水)、上尾市文化センターにて、平成21年新春の集い(主催・埼玉県行政書士会上尾支部、埼玉県行政書士政治連盟上尾支部)が開催されました。

今年度は、従来の新春の集いとは異なり、懇親会前の研修は行わず、日頃あまり顔を合わせることの少ない会員相互の交流会を経て、夕刻から夜にかけて、各行政庁における相談につきお誉めを賜り、また埼玉会会長・他支部支部長の皆様からも励ましのお言葉をいただきました。

来賓の方々からは、各行政庁における相談につきお誉めを賜り、また埼玉会会長・他支部支部長の皆様からも励ましのお言葉をいただきました。

7時より本格的な新年会となりました。懇親会は、来賓12名(ご芳名別添)のご出席をいただき、荒岡克巳副支部長の司会の下、和やかな雰囲気にて進行了しました。

葉をいただきました。最後に、出席支部会員25名各自の自己紹介を経て、盛会の裡に新年の集いの散会となりました。

副支部長 友光仁史

今年の新年賀詞交歓会は1月16日に例年と同じ浦和東武ホテルで開かれました。普段はお付き合いがない各地の会員や来賓のかたがたと、久しぶりにお会いし、談笑できるのを楽しみに入会以降毎年(と言っても4回ですが)参加しています。

賀詞交歓会そのものは全く例年通りで特段報告することもありません。そのようなかたがと、行政書士の活躍拡大の結果として、どうか首長、国会議員、関連団体の長の本人席が飛躍的に多くなつたように思います。

もう一つは上尾支部の出席者が減少し

はかなり実務に即した講義で、参加された会員も熱心に聞き入っていました。

懇親会は会場を上尾駅周辺の居酒屋に移し、いろいろな話題で盛会のうちに無事終了しました。今回が初の開催でしたが、なかなか良かったように思います。

ただ新規会員の参加があまりに少なかつたため、それが今後の検討課題になるかと思っております。ご意見等がございましたらご遠慮なくお願いたします。特に新規会員の皆様からのご意見大歓迎です!

厚生部長 植本泰之

これは、例年開催の年度末レクリエーションを方針転換したもので、事業部と厚生部が共同で開催しました。

研修は、当支部理事の大森眞市先生が「車庫証明・自動車登録等の実務について」というテーマで約2時間にわたり講義されました。内容

3月28日(土)に、上尾市プラザ22(上尾駅西口近く)において、新規会員との交流の主な目的とした研修会と懇親会を実施しました。

研修会&懇親会開催

理事 風間昭彦



研修会の様子「上尾市プラザ22」

はかなり実務に即した講義で、参加された会員も熱心に聞き入っていました。

懇親会は会場を上尾駅周辺の居酒屋に移し、いろいろな話題で盛会のうちに無事終了しました。今回が初の開催でしたが、なかなか良かったように思います。

ただ新規会員の参加があまりに少なかつたため、それが今後の検討課題になるかと思っております。ご意見等がございましたらご遠慮なくお願いたします。特に新規会員の皆様からのご意見大歓迎です!

厚生部長 植本泰之

上尾支部
女性クラブ
(仮称)

発足の御案内

支部会員の皆様には益々ご健勝のことと存じます。さてここ数年、行政書士会に入会される方々に、女性会員の方が多くなってきております。街の本屋さんを眺めますと、女性行政書士の書いた本なども

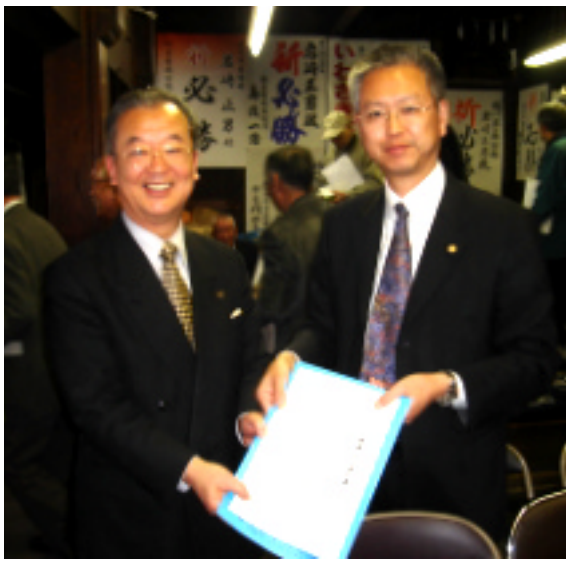
多数見受けられるようになってきました。上尾支部も現在10名の女性会員の方々がおりますがこの度、前支部長・石倉富美子先生を幹事として支部内に女性会員の組織(仮称・女性クラブ)を設置することを支部長として提案させて頂きました。女性同士で気がねなく、質問や意見の交換をして、それぞれの業務にお役立て頂ければと考えており

ます。つきましては、近々に第1回会議の設定を計画し、女性会員の皆様へ御連絡差し上げますので、何とぞ皆様の御参加を御願ひ申し上げます。

支部長
内田淳一



桶川市長選挙報告



岩崎市長(左)に上尾支部の推薦状を手渡す荒岡副支部長
桶川市の岩崎事務所で

任期満了に伴う桶川市長選挙が4月12日(日)に執行されました。投票は、午後8時で締め切られ即日開票の結果、当上尾支部が推薦した岩崎正男氏が、3選を果たされました。今後とも桶川市の行政とは、より一層密接な関係が構築出来るよう支部を挙げて協力してまいりたいと思います。

副支部長
荒岡克巳

役員会報告

1/15 正副支部長及び部長会議

内田、荒岡、秋山、友光(仁)、鈴木、星、風間、関口(光) 榎本、大森、田中

(政連) 新年会、年度末レクレーション、次年度役員編成、他

2/20 役員会 石倉、内田、荒岡、秋山、友光(仁)、鈴木、星、風間、榎本、田中、町田、大森、佐藤

年度末レクレーション(研修会)、次年度役員、次年度事業案・予算案、上尾駅相談会・役員会日程、次年度事務所当番・市(町)民相談、他

4/13 役員会 内田、荒岡、秋山、友光(仁)、星、風間、榎本、田中、町田、百瀬、佐藤、齊藤(竜)

21年度事業計画(案)、20年度決算報告、21年度役員案、支部総会、県議会代議員選出、支部旅行、他

会員動向

21年1月以降【退会】

2月 行方 顕正 先生 谷 正茂 先生 佐々木利廣 先生 (朝霞支部へ)

編集後記

千三つ(せんみつ)という言葉がありまうまくまとまるのは三つだけという意味です。ビジネスにおける合意形成の難しさの喩えとしても知られます。組織には様々な部署が置かれますが、広報は極めて千三つ的です。チラシを1000枚配ったら997枚からは返事がないかもしれない。今度は2000枚配ろう。組織で広報だけは、これくらい気合いでいたいですね。

支部通信。号 編集担当 田中智

広報部長挨拶

某党首秘書逮捕について国策捜査とか検察の政治介入とか検察内部の暴走であるとかの批判があるようです。ちょうど広報部長退任と事件が重なる時期です。上述の批判とは別の角度から一言申し上げ挨拶とします。 検察はマスコミに断片的に、事件の本質には関係しない周辺事情をリークし「被疑者及び其冤首：悪」、「検察：善」の世論形成のためにマスコミを利用してきたように思います。気づかずに利用されているマスコミの自覚を希望するのは私一人でしょうか。

もう一つは、現役とOBの特捜検事からも批判がある法律的に難解な事件に、検察の要求で身柄拘束の延長が自動的に認められることへの不安です。「偽りの自由を強要するようないます。私のような一般市民なら、偽りの調書に署名することになりそうです。 裁判官が勾留延長を厳格に判断し、人権を擁護するように機能する刑事事件の継続を希望します。 以上、マスコミの自覚並びに人権を擁護する刑事手続きを希望することを述べ、挨拶いたします。

広報部長
風間昭彦

平成21年度

お知らせ

埼玉県行政書士会
上尾支部行政書士会
埼玉県行政書士政治連盟
上尾支部定時総会

5月1日(金)午後6時 上尾市文化センター